

## 2. 千葉港の現況と課題

### 2-1 千葉港の現況

#### 2-1-1 千葉港の概要

千葉港は、国際海上貨物輸送網の拠点となる国際拠点港湾に位置づけられています。東京湾奥部に位置し、県内6市（市川市～袖ヶ浦市）にまたがる、海岸線延長約133kmを有する日本一広い港湾です。

千葉港所在の6市には、約256万人（県人口の約42%）の人口を擁し、多くの人々の生活を支えています。

港湾取扱貨物量は、約1.56億トン（H27）で全国第2位となる見込みであり、千葉港の港湾区域には、石油コンビナート、製鉄所、LNG基地などが集積し、県内及び首都圏の産業活動を支える重要な役割を担っています。



図 2-1-1 千葉港の現況

## 2-1-2 取扱貨物量の推移

### (1) 総取扱貨物量の推移

千葉港における総取扱貨物量の推移を見ると、平成20年に発生したリーマン・ショックの影響下にある平成21年以外は全体的に横ばいで推移しています。

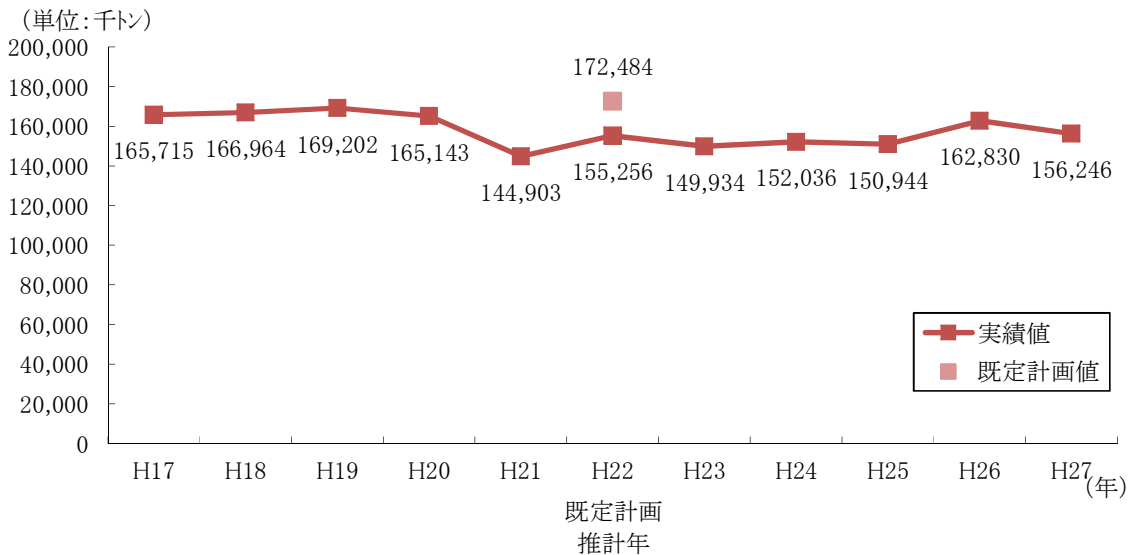


図 2-1-2 千葉港総取扱貨物量の推移と既定計画値

### (2) 公専別取扱貨物量の推移

公専別に取扱貨物量の推移を見ると、公共貨物は1千万トンから1千2百万トン程度で推移しており、専用貨物は、近年は1億4千万トンから1億5千万トン程度で推移しています。平成27年時点で、取扱貨物量の約7%を公共ふ頭で、約93%を民間の専用ふ頭で取り扱っています。

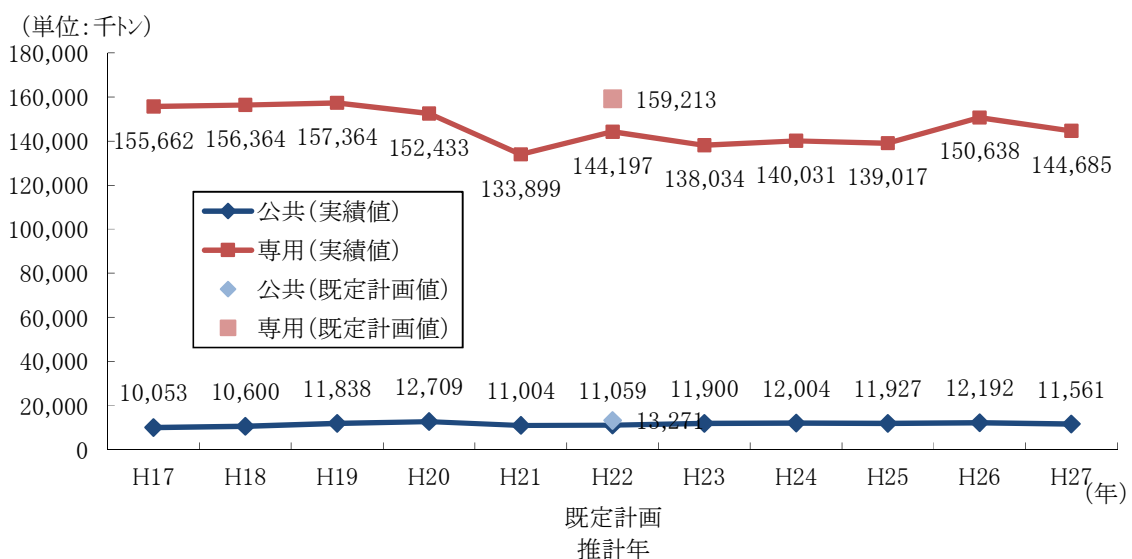


図 2-1-3 千葉港における公専別取扱貨物量の推移と既定計画値

### (3) 輸移出入別取扱貨物量の推移

輸移出入別取扱貨物量の推移は、下図のとおりです。

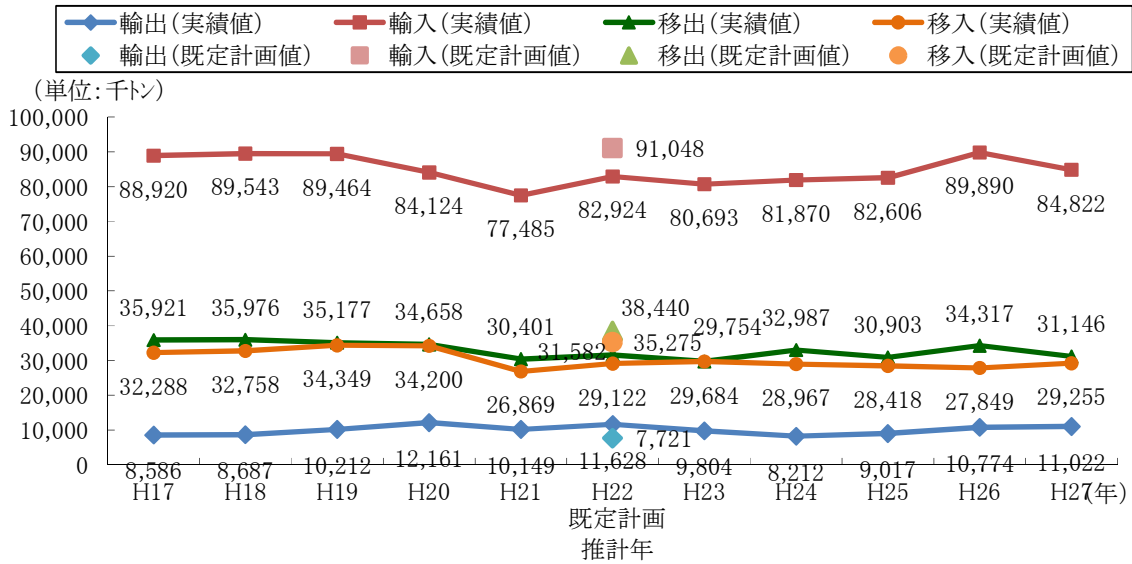


図 2-1-4 千葉港における輸移出入別取扱貨物量の推移と既定計画値

### (4) 貨物形態別貨物量の推移

コンテナ・バルク別取扱貨物量の推移は、下図のとおりです。

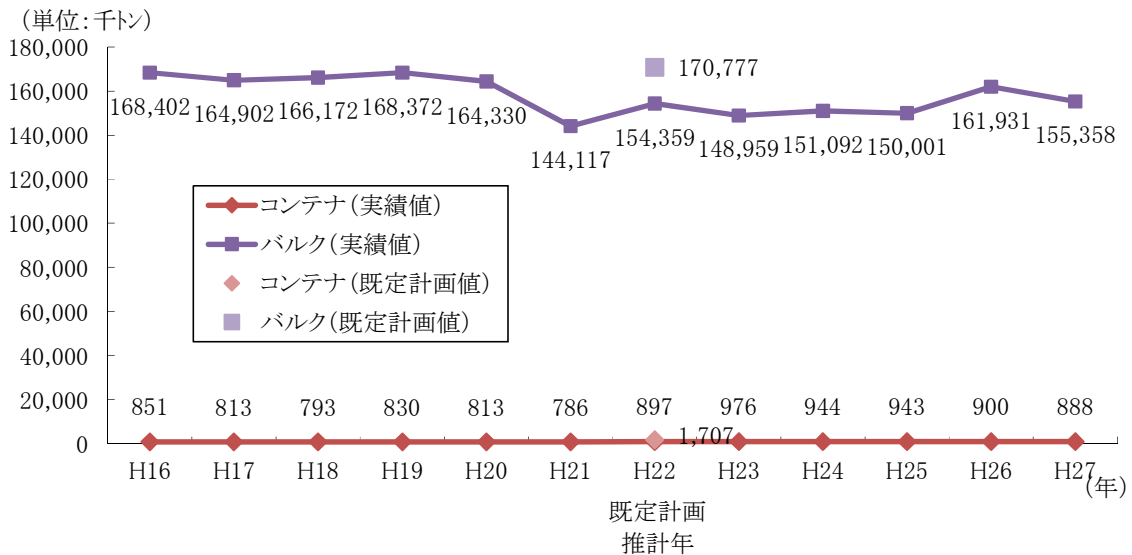


図 2-1-5 千葉港における貨物形態別取扱貨物量の推移と既定計画値

## 2-1-3 定期航路

### (1) 外航コンテナ航路

千葉港には現在、韓国、中国、台湾、東南アジアと結ぶコンテナ航路が週 4 便運航しています。これらに加え、東京港・横浜港を発着する東南アジア航路（週 2 便）とバージ輸送により接続しています。

#### <韓国航路>

| 船社名       | 便数<br>(便/週)又は(便/月) | 寄港地                         |
|-----------|--------------------|-----------------------------|
| 高麗海運      | 1便/週               | 横浜-東京-名古屋-蔚山-釜山-千葉          |
| 天敬海運・太榮商船 | 1便/週               | 千葉-釜山-仁川-釜山-清水-東京-横浜-名古屋-千葉 |

#### <華南・台湾航路>

| 船社名  | 便数<br>(便/週)又は(便/月) | 寄港地                         |
|------|--------------------|-----------------------------|
| 陽明海運 | 1便/週               | 千葉-横浜-基隆-高雄-香港-蛇口-廈門-名古屋-千葉 |

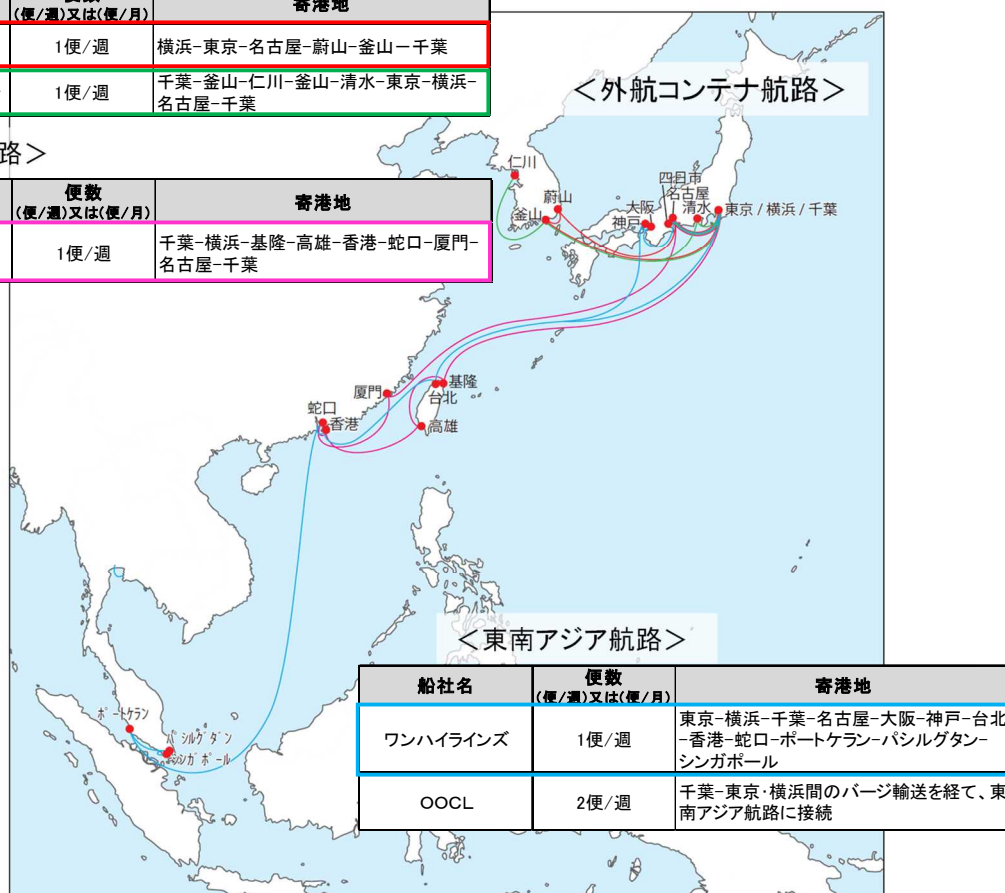


図 2-1-6 千葉港の外航コンテナ航路

## (2) 内航コンテナ航路

内航コンテナ航路は、千葉ー徳山下松を結ぶ航路と、船橋ー千葉ー川崎ー岩国ー徳山を結ぶ航路が就航しています。



図 2-1-7 千葉港の内航コンテナ航路

## (3) RORO 船航路

RORO 船航路は現在、千葉ー泉大津（大阪）ー宇野（岡山）ー三島川之江（愛媛）を結ぶ航路と、千葉ー広島を結ぶ航路が就航しています。



※ RORO 船：貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す(水平荷役方式)のために、船尾や船側にゲートを有する船舶

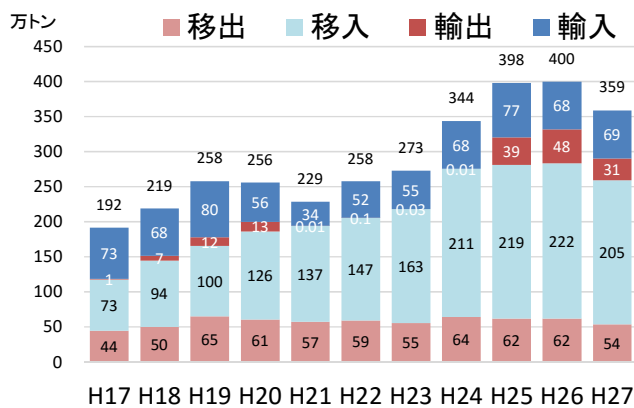
図 2-1-8 千葉港の RORO 船航路

## 2-1-4 千葉港の特徴

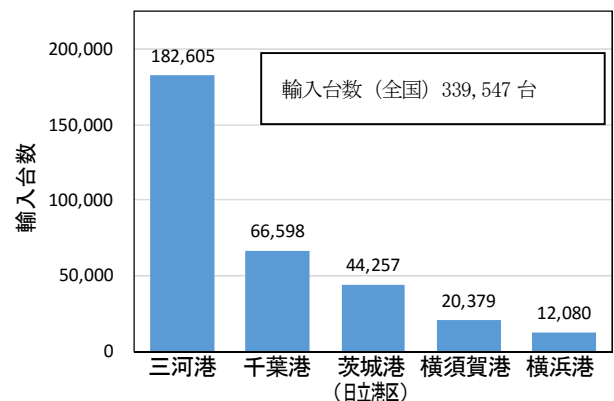
### (1) 関東における完成自動車貨物流通拠点

千葉港は、自動車流通の重要な拠点となっており、主にトヨタ自動車、BMW、富士重工業が利用しています。

完成自動車貨物（公共）の取扱量は概ね増加傾向にあり、平成27年の輸入台数は全国で第2位となっています。



資料：千葉港湾統計年報より作成



資料：財務省貿易統計より作成

図 2-1-9 完成自動車貨物（公共）の推移

図 2-1-10 完成自動車輸入台数（H27）

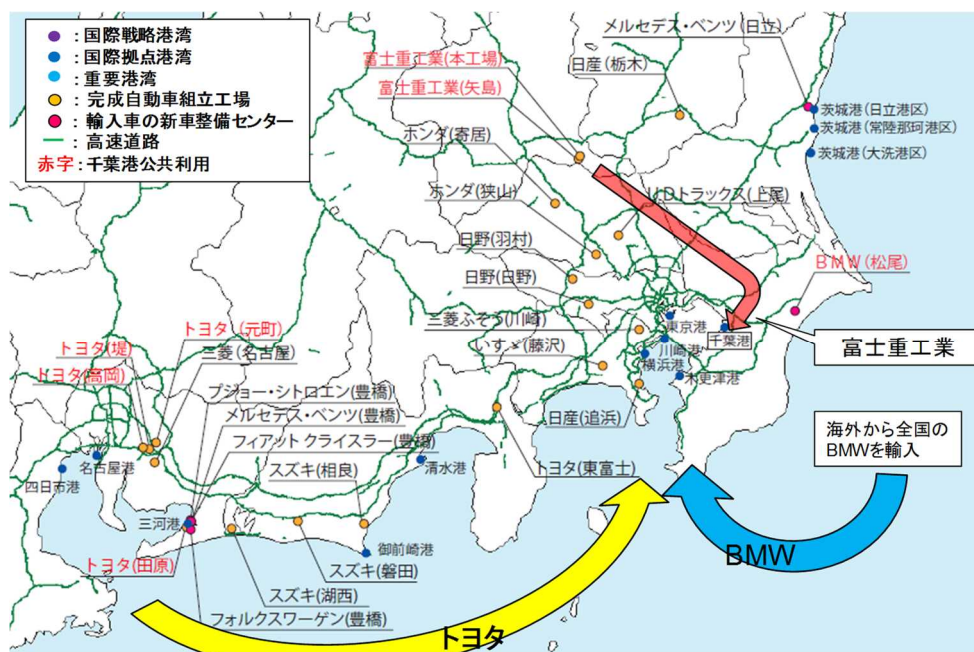
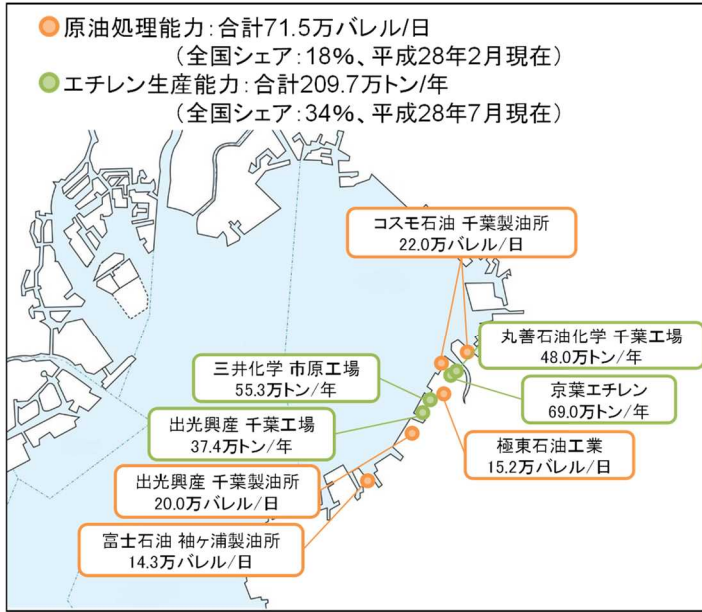


図 2-1-11 関東近辺の自動車工場・整備センターの立地と千葉港利用企業

## (2) 日本を支える基礎素材型産業・エネルギー拠点

京葉臨海工業地帯は日本有数の基礎素材型産業の集積地であり、その中枢拠点として千葉港は機能しています。

また、東京電力の火力発電所が4箇所 に立地しており、関東圏及び東日本へのエネルギー供給を担っています。



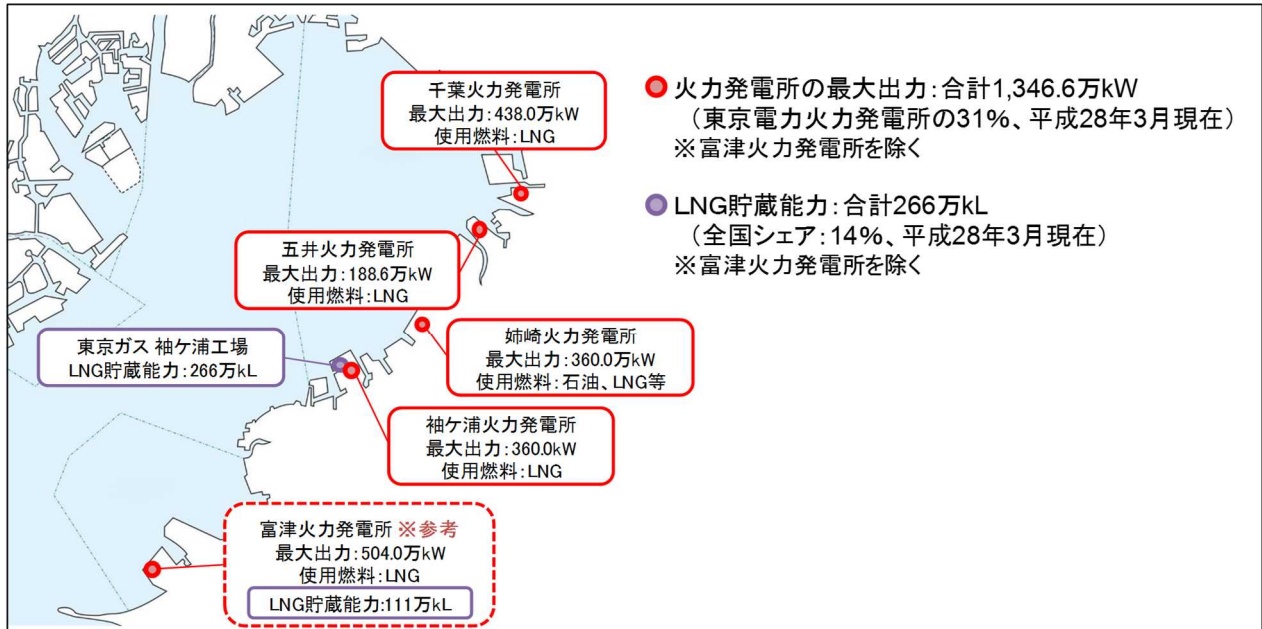
資料: 製油所の所在地と原油処理能力(石油連盟HP)、コンビナート所在地及びエチレンプラント生産能力(石油化学工業協会HP)より作成

石油化学産業の立地状況



資料: 経済産業省資料より作成

鉄鋼産業の立地状況



資料: 東京電力HP、東京ガスHPより作成

火力発電所とLNG貯蔵基地の立地状況

図 2-1-12 千葉港に立地する基礎素材型産業・エネルギー拠点

### (3) 親水空間におけるにぎわい

千葉港は、日本一長い人工海浜を有するなど、海浜公園等の親水レクリエーションを楽しめる場が港内に多く存在しています。ふなばし三番瀬海浜公園（船橋市）には年間約13万2千人の潮干狩客、いなげの浜（千葉市）には年間約7万7千人の海水浴客が訪れています（平成27年）。また、海浜公園では様々なイベントが開催されています。

臨海部には海浜公園だけでなく、ショッピング、スポーツ観戦、イベントなどを楽しめる多くの商業施設・集客施設が立地しています。

千葉中央地区では小型旅客船棧橋が整備され、海に親しめる空間づくりが推進されています。



資料：千葉県公式観光物産サイト

図 2-1-13 潮干狩りを楽しむ人々（ふなばし三番瀬海浜公園）



資料：千葉市提供

図 2-1-14 千葉みなと旅客船棧橋



【参考】 親水空間における各市・企業のイベント



RedBull Air Race 千葉

(千葉市・千葉県等が後援 開催地：幕張海浜公園)

資料：(c)Jason Halayko/Red Bull Content Pool



幕張ビーチ花火フェスタ

(千葉市等が主催、開催地：幕張海浜公園)

資料：千葉市 HP



千葉湊大漁まつり

(千葉市が主催 開催地：千葉ポートパーク)

資料：千葉市 HP



JFE ちばまつり

(JFE スチールが主催 開催地：蘇我スポーツ公園)

資料：JFE スチール (株) 提供



五井臨海まつり

(臨海部企業が参加 開催地：市原緑地運動公園)

資料：広報いちほら (平成 22 年 6 月 15 日版、市原市)



ふなばし市民まつり

(主催：船橋市 開催地：船橋港親水公園)

資料：千葉県公式観光物産サイト